

経済史研究会の活動記録

回	開催日	内容	テーマ 等	報告者 等
1	1995年7月22日	報告	社会経済史研究における地域 —西南日本における藩領国の類型—	秀村 選三 (九州大学名誉教授)
2	1995年10月7日	報告	近世農書における学藝	徳永 光俊 (大阪経済大学教授)
3	1995年12月3日	書評	佐村明知著 『近世フランス財政・金融史研究 —絶対王政期の財政・金融と「ジョン・ロー・システム」—』 (有斐閣 1995年8月刊)	評者:丹後 享 (西南学院大学非常勤講師)
4	1996年4月6日	報告	アダム・スミスの“見えない手”について	小林 昇 (立教大学名誉教授)
5	1996年6月1日	報告	アイルランドの土地改革	本多 三郎 (大阪経済大学教授)
6	1996年10月5日	報告	教養とは何か 教養の二つの形—個人の教養と集団の教養—について	阿部 謹也 (一橋大学学長)
7	1996年12月7日	報告	歩いて考える村の歴史—灌漑水利を中心に—	服部 英雄 (九州大学助教授)
8	1997年4月5日	報告	新しい世界史についての試論	尾崎 芳治 (名城大学教授)
9	1997年6月7日	書評1	西村卓著 『「老農時代」の技術と思想』 (ミネルヴァ書房 1997年3月刊)	評者:飯沼 二郎 (京都大学名誉教授)
		書評2	徳永光俊著 『日本農法史研究—畑と田の再結合のために』 (農山漁村文化協会 1997年4月刊)	
10	1997年9月27日	報告	経済史再考—前近代社会を中心に—	網野 善彦 (神奈川大学教授)
11	1997年12月6日	報告	ヨーロッパ中世初期都市・農村関係論の現在	森本 芳樹 (久留米大学教授)
12	1998年4月4日	報告	ヨーロッパ統合と国民国家の見直し —British Historyをめぐる—	山本 正 (大阪経済大学助教授)
13	1998年7月4日	報告	大企業体制の成立と展開 —国際比較の視点から—	曳野 孝 (京都大学助教授)
14	1998年10月3日	報告	文明の海洋史観—資本主義の海洋的起源—	川勝 平太 (国際日本文化研究センター教授)
15	1998年12月5日	報告	近代農村社会と移動労働者問題 —カリフォルニアと北ドイツの比較史試論—	足立 芳宏 (京都大学助教授)
16	1999年4月3日	報告	『稽徴録—京都守護職時代の会津藩史料—』に関して	家近 良樹 (大阪経済大学助教授)
17	1999年6月5日	報告	イギリスから見た日本の企業経営	長谷川 治清 (シェフィールド大学博士)
18	1999年10月21日	報告	「自然」概念の東西比較	伊東 俊太郎 (東京大学名誉教授・国際日本文化研究センター名誉教授)
19	1999年12月11日	報告	骨粉肥料の利用と流通—薩摩藩領を中心として—	江藤 彰彦 (久留米大学経済学部教授)
20	2000年4月1日	報告	アジア太平洋貿易圏の形成	杉原 薫 (大阪大学大学院経済学研究科教授)
21	2000年6月3日	報告	関西の地場産業と企業家精神	武知 京三 (近畿大学商経学部教授)
22	2000年10月7日	報告	遠景にある課題の交替とネオ・モダンな経済の台頭 —世紀末の現代経済に関する経済史を踏まえた—考察—	橋本 寿朗 (法政大学経営学部教授)
23	2000年12月2日	書評	山本恒人著 『現代中国の労働経済 1949-2000 —「合理的低賃金制」から現代労働市場へ—』 (創土社 2000年3月刊)	評者:中兼 和津次 (東京大学大学院経済学研究科教授)
24	2001年4月7日	報告	モンテスキューにおける経済のエスプリ	佐村 明知 (大阪大学大学院経済学研究科教授)
25	2001年6月2日	報告	ドイツ民族の歴史 —ドイツ民主共和国の歴史的位置付け—	シースラ・ブルクハルト (ポツダム大学歴史研究所経済学博士)
26	2001年10月6日	報告	開発経済学からみた日本経済史の個性	原 洋之介 (東京大学東洋文化研究所教授)

回	開催日	内容	テーマ 等	報告者 等
27	2001年12月7日	報告	日本化学工業史・試論	高松 亨 (大阪経済大学経営情報学部助教授)
28	2002年4月6日	報告	経済発展と産業構造 —経済史への計量経済学的アプローチ—	藤川 清史 (甲南大学経済学部教授)
29	2002年6月1日	テーマ	日本における東アジアの農書研究の現状と課題	
		報告1	日本におけるアジア農書研究の現状と課題 —中国農書のケース—	渡部 武 (東海大学文学部教授)
		報告2	朝鮮農書研究の現状と課題	宮嶋 博史 (韓国・成均館大学教授)
		報告3	日本におけるアジア農書研究の現状と課題(日本)	佐藤 常雄 (筑波大学農林学系教授)
30	2002年10月5日	報告	戦前日本の金融システムと銀行淘汰	岡崎 哲二 (東京大学大学院経済学研究科教授)
31	2002年12月7日	書評	谷口明丈著 『巨大企業の世紀 —20世紀アメリカ資本主義の形成と企業合同—』 (有斐閣 2002年3月刊)	評者:森 果 (札幌大学経営学部教授)
32	2003年4月5日	報告	近世前期のフロンティア状況と開発限界 —「勤労革命」前史—	江藤 彰彦 (久留米大学経済学部教授)
33	2003年6月7日	報告	希少生産要素による経済史の段階区分 —サプライ・サイドからの経済史再考—	大島 真理夫 (大阪市立大学大学院経済学研究科教授)
34	2003年10月4日	報告	日本の会社制度とコーポレートガバナンス: その歴史的成り立ち	宮本 又郎 (大阪大学大学院経済学研究科教授)
35	2003年12月6日	書評	藤田貞一郎著 『近代日本経済史研究の新視角 —国益思想・市場・同業組合・ロビンソン漂流記—』 (清文堂出版 2005年12月刊)	評者:石井 寛治 (東京経済大学経営学部教授)
36	2004年4月3日	報告	私の「満洲国」経済史研究	山本 有造 (京都大学人文科学研究所教授)
37	2004年6月5日	報告	東アジアの工業化パターンと経済関係 —技術蓄積論からの接近—	服部 民夫 (東京大学大学院人文社会系研究科教授)
38	2004年10月2日	報告	情報の政治経済史—近代日本の場合—	石井 寛治 (東京経済大学経営学部教授)
39	2004年12月14日	報告	気象・太陽黒点と景気変動 —その周期性類似に関する一試論—	住田 紘 (東亜大学サービス産業学部教授)
40	2005年4月2日	報告	Sakoku, Tokugawa Policy, and the interpretation of Japanese history	ルイ・マイケル・カレン (ダブリン大学トリニティカレッジ名誉教授)
41	2005年6月4日	報告	近代資本主義の組織 —製糸業の発展における取引の統治と生産の構造—	中林 真幸 (大阪大学大学院経済学研究科助教授)
42	2005年12月3日	報告	日本経済史の地域論的再構築—地域形成史論の射程—	岡田 知弘 (京都大学大学院経済学研究科教授)
43	2005年12月10日	書評	秀村選三著 『幕末期薩摩藩の農業と社会 —大隅国高山郷土守屋家をめぐって—』 (創文社 2004年10月刊)	評者①:大島 真理夫 (大阪市立大学大学院経済学研究科教授)
				評者②:徳永 光俊 (大阪経済大学経済学部教授・ 大阪経済大学日本経済史研究所所員)
44	2006年4月8日	報告	戦前の中国金融における外国資本の役割	蕭 文嫻 (大阪経済大学非常勤講師)
45	2006年6月3日	報告	日本半導体産業史—真空管からフラッシュメモリまで—	吉田 秀明 (大阪経済大学経済学部助教授)
46	2006年10月7日	報告1	アメリカのドイツ政策と米英財政関係 —対ドイツ援助分担協定とボンド危機をめぐって—	河崎 信樹 (大阪経済大学日本経済史研究所ポストドクター)
		報告2	近世日本の境界領域にみる日中関係 —貿易港長崎を中心に—	熟 美保子 (関西大学非常勤講師)
47	2007年3月10日	書評	家近良樹編 『もうひとつの明治維新—幕末史の再検討』 (有志舎 2006年10月刊)	評者:毛利 敏彦 (大阪市立大学名誉教授)
48	2007年4月14日	報告	琉球処分と清朝駐日外交官	閻 立 (大阪経済大学経済学部専任講師)
				コメンテーター:熟 美保子 (関西大学非常勤講師)

回	開催日	内容	テーマ 等	講師 等
49	2007年6月16日	書評	藪田貫著『近世大坂地域の史的研究』 (清文堂出版 2005年12月刊)	評者①:大島 真理夫 (大阪市立大学大学院経済学研究科教授) 評者②:岩城 卓二 (京都大学人文科学研究所准教授)
50	2007年12月8日	シンポジウム	第1回 オープン・リサーチセンター整備事業 国際シンポジウム 東アジア経済史研究会 近世・近代東アジア経済史—中国・韓国・日本・琉球の交流— (座長:蕭 文嫻 大阪経済大学非常勤講師、日本経済史研究所研究員)	
		報告・ 討論	漢代財政監督研究	朱 徳貴 (哈爾濱商業大学副教授・哈爾濱商業大学経済史研究所)
			中国南北方漢族居住区宗族聚居の地域差異	王 詢 (東北财经大学経済学院長・教授)
		報告・ 討論	(座長:徳永光俊 大阪経済大学経済学部長、日本経済史研究所員)	
			近世日本中国朝鮮における貨幣経済化比較史試論 —錢貨を中心として	岩橋 勝(松山大学教授) 李 紅梅(松山大学大学院)
			近世琉球の食文化——砂糖菓子の交流	熟 美保子 (関西大学非常勤講師、日本経済史研究所研究員)
		報告・ 討論	(座長:山本 正 大阪経済大学教授、日本経済史研究所員)	
			清朝の多言語並存と外国語の位置づけ	閻 立 (大阪経済大学講師、日本経済史研究所員)
			東アジアにおけるミシンの普及 —19世紀後半～20世紀前半の日本・中国を事例に	岩本真一 (大阪市立大学大学院、日本経済史研究所研究員)
			日本と「満洲国」の阿片政策問題についての一考察	二宮美鈴 (茨木市史編さん室史料調査員、日本経済史研究所研究員)
	2007年12月9日	報告・ 討論	(座長:堀 和生 京都大学大学院教授)	
			植民地期共同體的規範の移植: 朝鮮の山林管理と日本の入會制度	李 宇衍 (落星臺経済研究所研究委員)
			第一次大戦と朝鮮貿易	宋 圭振 (高麗大学校亜細亜問題研究所教授)
			天津と仁川を通してみた 開港場貿易の発展と近代都市の成長	姜 京洛 (江南大学校教授)
		報告・ 討論	(座長:細川大輔 大阪経済大学教授)	
			日本半導体産業の推移と 東アジア半導体生産集積圏の形成	吉田秀明 (大阪経済大学准教授、日本経済史研究所員)
			歴史的な概念としてのアジアNIES	橋谷 弘 (東京経済大学教授)
			購買力平価による日中韓経済比較	梁 炫玉 (大阪経済大学非常勤講師)
		報告・ 討論	(座長:本多三郎 日本経済史研究所長)	
			経済史文献解題データベースとその国際版の概要について	河崎信樹 (日本経済史研究所PD)
51	2008年4月12日	報告	19世紀後半ドイツ鉄道業の展開 —技術と知識の社会的受容をめぐる一考察—	鳩澤 歩 (大阪大学大学院経済学研究科准教授)
52	2008年6月7日	報告	戦時期日本の航空機用ガソリン製造 —海外技術導入と独自技術—	三輪 宗弘 (九州大学記録資料館産業経済資料部門教授)
53	2008年12月13日	報告	19世紀アジアの健康危機 —半乾燥熱帯におけるマラリアとコレラ—	脇村 孝平 (大阪市立大学大学院経済学研究科教授)
54	2009年4月11日	報告	1930年代フランス経済史再論 —竹岡敬温著『世界恐慌期フランスの社会—経済 政治 ファシズム—』(御茶の水書房、2007年)を読む—	市川 文彦 (関西学院大学大学院経済学研究科 准教授)

回	開催日	内容	テーマ 等	講師 等
55	2009年6月6日	テーマ	上海 近代のあゆみ ―日本との関わりを中心に―	
		記念講演	近代書籍交流史における上海と日本 ―張元済の日本訪書を中心に―	周 武 (上海社会科学院歴史研究所研究員(教授))
		シンポジウム 報告1	1860年代の上海と幕末日本	閻 立 (大阪経済大学経済学部准教授・ 日本経済史研究所所員)
		シンポジウム 報告2	上海の「私立学校」 東洋学館をめぐる	熟 美保子 (関西大学非常勤講師・大阪経済大学 日本経済史研究所研究員)
		シンポジウム 報告3	日中経済関係と横浜正金銀行上海支店 (1893―1911年)	蕭 文嫻 (大阪経済大学非常勤講師・大阪経済 大学日本経済史研究所研究員)
		シンポジウム 報告4	20世紀初頭の裁縫教育を取り巻く経済史的要因 ―上海の女学校授業科目をもとに―	岩本 真一 (大阪経済大学非常勤講師・大阪経済 大学日本経済史研究所研究員)
		シンポジウム 報告5	1900年代以降の日本人の中国観の変遷について	近藤 直美 (大阪経済大学人間科学部准教授・ 大阪経済大学日本経済史研究所所員)
56	2009年10月10日	書評	閻立著 『清末中国の対日政策と日本語認識 ―朝貢と条約のはざま―』(東方書店 2009年3月刊)	評者: 茂木 敏夫 (東京女子大学現代文化学部教授)
57	2009年12月5日	書評	風呂勉著 『第二次大戦日米英流通史序説』 (晃洋書房 2009年5月刊)	評者①: 吉田 秀明 (大阪経済大学経済学部准教授)
				評者②: 加藤 司 (大阪市立大学大学院経営学研究科教授)
				評者③: 小西 一彦 (追手門学院大学経営学部教授)
		講演	日本の流通政策史	石原 武政 (関西学院大学商学部教授)
58	2010年4月10日	報告	世界恐慌期の債務再交渉 ―1933-34年ベルリン債務会議を中心に―	西牟田 祐二 (京都大学大学院経済学研究科教授)
59	2010年6月12日	書評	大島真理夫編著 『土地希少化と勤勉革命の比較史 ―経済史上の近世―』 (ミネルヴァ書房 2009年12月刊)	評者①: 勘坂 純市 (創価大学経済学部教授) 評者②: 籠谷 直人 (京都大学人文科学研究所教授)
60	2010年10月9日	報告	農法史からみる日本農学原論序説	徳永 光俊 (大阪経済大学経済学部教授)
61	2010年12月11日	テーマ	近代における日本と台湾	
		報告1	日本統治初期における台湾紳商の日本視察と殖産興業	高 淑媛 (台湾・国立成功大学歴史学系副教授)
		報告2	植民地台湾における地域社会の台湾人青年教師の役割 ―草屯地域の洪氏一族を事例として―	陳 文松 (台湾・国立成功大学歴史学系助理教授)
		コメント		コメンテーター: 吉田建一郎(大阪経済大学) 近藤 直美(大阪経済大学)
62	2011年4月16日	書評 (合評)	藪内吉彦・田原啓祐著 『近代日本郵便史―創設から確立へ―』 (明石書店 2010年10月刊)	評者①: 武知 京三 (近畿大学名誉教授) 評者②: 武谷 嘉之 (奈良産業大学准教授)
63	2011年6月18日	報告	『看病難、看病貴』の構図 ―中国医療体制をめぐる国家と社会―	飯島 渉 (青山学院大学文学部教授)
64	2011年10月1日	報告	清に対する琉日関係の隠蔽政策	渡辺 美季 (神奈川大学外国語学部助教)
65	2011年12月10日	報告	ナチス・ドイツの収穫感謝祭	藤原 辰史 (東京大学農学生命科学研究科講師)
66	2012年4月14日	書評	家近良樹著 『西郷隆盛と幕末維新の政局 ―体調不良問題から見た薩長同盟・征韓論政変』 (ミネルヴァ書房 2011年5月刊)	評者: 高久 嶺之介 (京都橘大学文学部教授)
67	2012年6月2日	報告	外国人居留地の自治行政と公衆衛生 ―横浜・長崎・神戸―	市川 智生 (上海交通大学歴史系講師)
68	2012年10月13日	報告	産業革命期イギリスの識字率 ―スタッフオードシャー The Calendars of Prisoners の分析―	山本 千映 (大阪大学大学院経済学研究科准教授)
69	2012年12月1日	報告	植民地と移民ネットワークの相克 ―辛亥革命期、廈門における英領北ボルネオ移民募集事業を中心に―	村上 衛 (京都大学人文科学研究所准教授)

回	開催日	内容	テーマ 等	講師 等
70	2013年4月13日	報告	清末中国の在外領事裁判と東アジア —華人保護と領事裁判権から見た近代の変容—	青山 治世 (亜細亜大学国際関係学部講師)
71	2013年6月8日	報告	隔離政策下のハンセン病療養所における信仰と交流 —香川県大島のキリスト教にみる—	石居 人也 (一橋大学大学院社会学研究科准教授)
72	2013年10月12日	報告	20世紀初頭のアジアにおける金為替本位制の展開と銀政策 —英領インドの事例を中心として—	西村 雄志 (関西大学経済学部准教授)
73	2013年11月30日	書評	金澤周作編著 『海のイギリス史：闘争と共生の世界史』 (昭和堂 2013年7月刊)	評者①：川分 圭子 (京都府立大学文学部教授) 評者②：島田 竜登 (東京大学大学院人文社会系研究科准教授)
74	2014年4月12日	報告	日中戦争前期の上海租界経済と企業経営 —経済史からみた対日協力問題—	今井 就稔 (群馬大学教育学部准教授)
75	2014年10月11日	報告	興亜院華北連絡部『北支那緬羊調査報告』(1939 年) について	吉田 建一郎 (大阪経済大学経済学部准教授・ 日本経済史研究所所長)
76	2014年12月6日	テーマ	人物と台湾史研究	
		報告1	沈葆楨による鄭成功評価：「欽憾」から「創格」の発見	劉靜貞 (國立成功大學歷史學系教授)
		報告2	十五代目市村羽左衛門の植民地台湾における 巡回興行をめぐる	顧 盼 (國立成功大學歷史學系副教授)
77	2015年4月11日	書評	岩本真一著 『ミシンと衣服の経済史—地球規模経済と家内生産—』 (思文閣出版 2014年7月刊)	評者①：阿部 武司 (国士舘大学政経学部教授) 評者②：谷本 雅之 (東京大学大学院経済学研究科教授)
78	2015年6月13日	報告	近代中国における不平等条約改正への始動 —開港場の「約開」から「自開」へ—	閻 立 (大阪経済大学経済学部准教授・ 日本経済史研究所員)
79	2015年10月10日	報告	歴史的に見た経済政策	北村 行伸 (一橋大学経済研究所 所長)
80	2015年12月19日	報告	日本領南樺太の40年—戦争と人口移動の観点から—	竹野 学 (北海道商科大学商学部 教授)
81	2016年4月2日	書評	坂本優一郎著 『投資社会の勃興—財政金融改革の波及とイギリス—』 (名古屋大学出版会、2015年2月刊)	金澤 周作 (京都大学大学院文学研究科准教授)
82	2016年6月4日	報告	東京城東地域における皮革産地の変容 —産地縮小期における企業ブランド構築の取組—	山本 俊一郎 (大阪経済大学経済学部教授)
83	2016年10月22日	報告	清代新疆における内地移民について	華 立 (大阪経済法科大学国際学部教授)
84	2016年12月3日	報告1	从小縣城到大上海：経済空間と都市的發展	吳松弟 (復旦大学歴史地理研究中心教授)
		報告2	近代中日貿易述評	樊如森 (復旦大学歴史地理研究中心副教授)
85	2017年1月22日	報告	近代中国貨幣システムの変容 —銀行券発行と財政との関わりを中心に—	蕭文嫻 (大阪経済大学日本経済史研究所研究員 大阪経済大学・大阪市立大学非常勤講師)
86	2017年4月15日	報告	パチンコホール企業改革研究の成果と課題	鍛冶 博之 (徳島文理大学総合政策学部講師)
87	2017年6月24日	報告	春秋時代における晋・齊・魯の関係について —襄公期(前572～前542)を中心に—	吉田 章人 (新潟大学経営戦略本部教育戦略統括室特任助教 大阪経済大学日本経済史研究所研究員)
88	2017年10月28日	報告	西周王朝の滅亡 —歴史資料の伝えるところ—	水野 卓 (愛媛大学文学部講師)
89	2017年12月16日	報告	満蒙開拓団研究の論点	細谷 亨 (立命館大学経済学部准教授)
90	2018年4月21日	報告	19世紀熊本藩領の行財政制度と地域社会	今村 直樹 (熊本大学永青文庫研究センター准教授)
91	2018年5月19日	報告	中国雲南のムスリムからみる中国	首藤 明和 (長崎大学多文化社会学部教授)
92	2018年6月16日	報告	清末天津におけるYMCAと学校教育との関わり —「日本モデル」から「アメリカモデル」への転換と底流—	戸部 健 (静岡大学人文社会科学部教授)
93	2018年10月27日	報告	旧優生保護法に関する報道と史実理解の問題点	横山 尊 (日本学術振興会(福岡大学))

回	開催日	内容	テーマ 等	講師 等
94	2018年12月8日	テーマ	思想と外交から見た中国と日本の近代	
		報告1	想像民族恥辱: 近現代中國的「病夫」集體記憶	楊瑞松 (臺灣國立政治大學 文學院 歴史系 教授)
		報告2	日本開国前後における寺から見た徳川幕府の対外体制	廖敏淑 (臺灣國立政治大學 文學院 歴史系 副教授)
		コメント		箱田 恵子 (京都女子大学文学部准教授)
95	2019年4月20日	報告	江戸時代の「経済学」—大坂米市場へのまなざし—	高槻 泰郎 (神戸大学経済経営研究所准教授)
96	2019年6月29日	報告	アベノミクスを巡る経済学と日本銀行	高橋 亘 (大阪経済大学経済学部教授)
97	2019年10月19日	テーマ	近代中国の経済と日本	
		報告1	近代化過程における中国企業制度の変遷	高超群 (中国社会科学院経済研究所研究員)
		報告2	抗日戦争期における中国の経済と日本	臧运社 (北京大学歴史学系 教授)
98	2019年12月14日	報告	20世紀における時計産業のグローバル史	ピエール=イヴ・ドンゼ (大阪大学大学院経済学研究科教授)
99	2020年10月17日	報告	日露戦後日本の政府介入と超過需要: 専売制度下食塩市場の分析	前田 廉孝 慶應義塾大学文学部准教授
100	2020年12月5日	記念講演	日本経済史研究の視角と方法	大島真理夫 大阪市立大学名誉教授
		回顧と展望	引継ごう大きな宝物 ～経済史研究会100回を記念して研究所の歩みを振り返る	本多 三郎 大阪経済大学名誉教授、日本経済史研究所元所長
		座談会	歴代所長と振り返る「経済史研究会」の歩みとこれから	
101	2021年4月17日	報告	山東鶏卵の1910・20年代	吉田建一郎 大阪経済大学経済学部准教授
102	2021年6月5日	報告	疫病の地政学 —コレラ・パンデミックと疫病問題(1870s～1920s)	脇村 孝平 大阪経済法科大学経済学部教授
103	2021年10月16日	報告	1950・60年代アメリカの中小企業金融と「ポピュリズム」 ～ライト・バットマンの連邦準備制度改革構想を中心に～	浅野 敬一 大阪経済大学経済学部教授
104	2021年12月5日	テーマ	ワシントン体制と日本	
		報告1	ワシントン体制評価の相対化	酒井 一臣 九州産業大学国際文化学部教授
		報告2	第一次世界大戦を契機に東アジアの国際秩序はどのように変化したか	中谷 直司 帝京大学文学部准教授
105	2022年4月16日	報告	近世初頭の建築労働者賃金: 基本データの構築, 解釈と課題	高島 正憲 関西学院大学経済学部准教授
106	2022年6月11日	報告	20世紀フランス北部炭鉱におけるポーランド人労働者の定住	定藤 博子 阪南大学経済学部准教授
107	2022年9月24日	報告	清末東三省の新政と日本—東三省の建省を中心として—	閻 立 大阪経済大学経済学部教授
108	2022年10月22日	テーマ	日本経済史研究所所蔵「旧大和郡山藩士吉田家文書」共同報告	
		報告1	士族の家計簿—吉田家を事例に—	内山 一幸 大阪経済大学経済学部准教授
		報告2	幕末期の大坂・京都をめぐる新視点—「吉田家文書」の可能性—	後藤 敦史 京都橋大学文学部准教授